平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 7 月 3 日

評価対象事業			評価者	こと	ども相談課長	平井 あかね	
こども-17	実施事業	■ 児童福祉運営事業	自治事務	主管課	こども相談課		
	まち・ひと・しごと	児里価性 理呂爭未 ■	法定受託事務	関連課	こども相談課みらい課、保育課		
総合計画上の 位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援			

1	事業の	日	的

2 平成28年度に宝施した事業の概要

	争未の日内	2 十成20十段に夫心した事業の概要
対 象		・こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」の運営を行った。
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため。	・前年に引き続き、相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。・ふるさと寄附金等を遺児福祉基金に積み立てた。
効果	児童福祉事業が適切に実施される。	

3 事業費等基礎データ

人	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備考
デ스	人口	177,243人	176,869人	人口	176,466人	•各年3月31日
タ等	世帯数	80,676世帯	80,928世帯	世帯数	81,150世帯	(住民基本台帳)
² 0	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	12,878	14,077	当初予算(千円)	15,102	
運	国県支出金		4,185	国県支出金	4,185	
営 資 源	地方債			地方債		
真酒	その他	2,930	5,205	その他	5,118	
状	一般財源	9,948	4,687	一般財源	5,799	
況	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	1.3	
	人 件 費(千円)	10,479	10,291	人件費(千円)	10,213	
事	総事業費(千円)	23,357	24,368	総事業費(千円)	25,315	
経業 費運	市民1人当りの 経費(円)	132	138	市民1人当りの 経費(円)	143	
営	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4	计化	<u> </u>		X	※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。
効 率	· 性	事業費に削減余地はないか		2. ts	. ない
X) +	- II	関連・類似事業との統合はできないか		2. 紛	. 統合に向けた検討は可能
		事業の実施に対する市民ニーズはある	るか	9. 実	. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
妥 当	性	事業の廃止・休止による市民生活への影	/響は大きいか	9. 美	. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
		今後も市が実施すべき事業か		9. 美	. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効	-	事業の成果は得られているか		9. 美	. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
19 以) II	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	4. 事	. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平	性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3	∆-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
				∇-6	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協	働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施		協働実施済の場合のパートナー
				ו ממו	加州大池内の物目のバード)
		□ a:事業内容を見直す ⇒	<mark>見</mark> □ 拡大		見
事業		■ b:事業内容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮기	`	内直 <mark>容し</mark>
容の	生	□ c:事業を休止又は廃止する	<mark>の</mark> 🗆 その	他	
		□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	:する =	⇒	事業へ統合
予算	相	□ A:予算規模を拡大する	事業内容•予	~ J.S	とというというというできます。これはいるとのである。これでは、というというというというというというというというというというというというというと
模の	方	■ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向	の予)予防及び早期発見に努めるとともに、子育てにストレスを抱えている保護者を支
向作	生	□ C:予算規模を縮小する	性設定の理由	援す	爰する講座等を継続的に実施し、児童虐待が起こりにくい環境を整備していく。
総評	(評				

価に対 こどもと家庭の相談室に寄せられる相談内容は、児童虐待に関するものを含め多様であり、また関係機関等との連携が必要な案件も増 する者 加している。児童虐待が起こりにくい環境づくりをはじめとして、子育て環境の向上のため、相談室の質、体制をより充実しながら、今後も え方、根事業を継続していく。 拠等)

を含む	次 ()										
果題解決のた た平成28年原	度の取組 4				常勤嘱託員(相談						解決 一部解決 未解決
未解決の課題 課題とその	り理由	曽加傾向 な資質や	で、かつ┣ 調整力がス	関係機関等との 求められるとこ		いるケースが多く	くなっていること				
					自治体や民間		(値)				
比較事項					相談所所管市町	「に催認)					L
団体名	鎌倉市	垣	三子市	三浦市	葉山町						
他市実績	179	+	65	29	25						
比較事項					<u>-</u>	<u> </u>			1		
団体名											
他市実績											
比較事項											
比较事效											
団体名											
	問せる				ないが、本市同様					は件数的には	は微減とのこと
団体名 他市実績 当該事業実施では、考えてのである。 の 事業実施のである。	関するが	が、延べ人 (標	数として横	ばいとのこと)。	ないが、本市同様、この状況を考慮して		室体制の強化が		と考える。 指標 の	は件数的には	は微減とのこと
団体名 他市実績 当該事業実 他市比較に 考えフ ② 事業実施 指標の内容	関する	が、延べ人 1標 年の相談	数として横	ばいとのこと)。			室体制の強化が	必須である	と考える。	t件数的には → H31	
団体名 他市実績 当該事業実施のおける。 当該事業実施のおける。 「ののでする。」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関する 方 施に係る指 こどもと家庭	が、延べ人 1標 年の相談	数として横	ばいとのこと)。、	この状況を考慮し	でも、今後の相談	室体制の強化が単位	必須である	と考える。 指標 の	\Rightarrow	
団体名 他市実績 当該事業実 他市比較に 考え の 事業実 指標の内容 当該指標	関する 施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 計標 庭の相談 理由	室の相談の	ばいとのこと)。、 件数 H26	この状況を考慮し [*] H27	でも、今後の相談 H28	室体制の強化が 単 位 H29	必須である 件 H30	と考える。 指標 の	→ H31	
団体名 他市実績 当該事業実 他市比較に 考え の 事業実 指標の内容 当該指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関する 施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 計標 庭の相談 理由	数として横 室の相談 年次 目標値	ばいとのこと)。 件数 H26 400	この状況を考慮し H27 400	でも、今後の相談 H28 400	室体制の強化が 単 位 H29	必須である 件 H30	と考える。 指標 の	→ H31	
団体名 他市実績 当該事業実 他市比較に 考え フ ・ 事業実 指標の内容 当該指標・ ・ 日童虐待相談	関する 施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 計標 庭の相談 理由	数として横 室の相談 年次 目標値 実績値	ばいとのこと)。 件数 H26 400 380	この状況を考慮し H27 400 434	H28 400 386	室体制の強化が 単位 H29 400	必須である 件 H30	と考える。 指標の 傾向 指標の	→ H31	
団体名 他市実績 当該事業実施の内容 事業実施を表える 事業実施を表える 事業実施を表える 事業実施を表える 事業実施を表える 事業実施を表える 事業実施を表える 「はたい」 は「おいっちゃく」 は「いっちゃく」 はいまりまする。」 はいまりまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまする。 はいまりまりまする。 はいまりまする。 はいまりままりまする。 はいまりままままままままままままままままままままままままままままままままままま	関する 施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 音標 庭の相談: 理由 尾を図る	数として横 室の相談 年次 目標値 実績値	ばいとのこと)。 件数 H26 400 380	この状況を考慮し H27 400 434	H28 400 386	室体制の強化が 単位 H29 400	必須である 件 H30	と考える。	→ H31	備考
団体名 他市実績 当該事業実施の内容 事業実施 指標の内容 は関係の内容	施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 音標 庭の相談: 理由 尾を図る	数として横 室の相談 年次 目標値 実績値 達成率	ばいとのこと)。 件数 H26 400 380 95.0%	H27 400 434 108.5%	H28 400 386 96.5%	室体制の強化が 単位 H29 400	件 H30 400	と考える。 指標の 傾向 指標の	H31 400	備考
団体名 他市実績 当該事業実に他市考え の 事業実施 指標の内容 当該指標 日童虐待相談	施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 音標 庭の相談: 理由 尾を図る	数として横 室の相談 年次 目標値 実績値 達成率	ばいとのこと)。 件数 H26 400 380 95.0%	H27 400 434 108.5%	H28 400 386 96.5%	室体制の強化が 単位 H29 400	件 H30 400	と考える。 指標の 傾向 指標の	H31 400	備考
団体名 他市実績 当該事業実施の内容 事業実施 指標の内容 は関係の内容	施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 音標 庭の相談: 理由 尾を図る	数として横 室の相談 年次 目標値 実績値 達成率	ばいとのこと)。 件数 H26 400 380 95.0%	H27 400 434 108.5%	H28 400 386 96.5%	室体制の強化が 単位 H29 400	件 H30 400	と考える。 指標の 傾向 指標の	H31 400	備考
団体名 他市実績 当該事業実に 者を表する。 事業実施 指標の内容 当該指標 の内容 当該指標 の内容 当該指標	施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 音標 庭の相談: 理由 尾を図る	数として横 室の相談・ 目標値 実績値 事様値 実績値 実績値	ばいとのこと)。 件数 H26 400 380 95.0%	H27 400 434 108.5%	H28 400 386 96.5%	室体制の強化が 単位 H29 400 H29	件 H30 400	と考える。 指標の 傾向 指標の	H31 400	備考
団体名 他市実績 当該事業験に 者えた の 事業実に 指標の内容 指標の内容 指標の内容	施に係る指 こどもと家履 を設定したま	が、延べ人 標度の相談 理由 単由 単由	数として横 室の相談・ 目標値 実績値 事様値 実績値 実績値	ばいとのこと)。 件数 H26 400 380 95.0%	H27 400 434 108.5%	H28 400 386 96.5%	室体制の強化が 単位 H29 400 H29	件 H30 400	と考ええる。	H31 400	備考
団体名 他市実績 当該事業験に 当時である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	施に 係る指 こどもと家履 を設定した事 を独定した事	が、延べ人 標度の相談 理由 単由 単由	数として横 室の相談の目標値 事様値 事様値 事様値 事様値 事様値 事様値 事様値 事様値 事様値 事様	供数 H26 400 380 95.0% H26	この状況を考慮し H27 400 434 108.5%	H28 400 386 96.5%	室体制の強化が 単位 H29 400 H29	件 H30 400	と考ええる。	H31 400	備考
団体名 他市実績 当該市業・大学 指標の内容 当該指標 おおける 指標の内容 指標の内容 指標の内容 指標の内容	施に 係る指 こどもと家履 を設定した事 を独定した事	が、延べ人 標度の相談 理由 単由 単由	数として横室の相談を事業をは、本人をは、大人をは、大人をは、大人をは、大人をは、大人をは、大人をは、大人をは、大	供数 H26 400 380 95.0% H26	この状況を考慮し H27 400 434 108.5%	H28 400 386 96.5%	室体制の強化が 単位 H29 400 H29	件 H30 400	と考ええる。	H31 400	備考